令和８年９月６日
第４回きた eco 道場

第4回きたeco道場まとめ

自然が作るエネルギーと人間の暮らしについて学ぼう！

1 自然と災害

今年も、台風が日本に接近し、大きな被害をもたらしました。また、台風だけでなく、火山の噴火や日照りなど、さまざまな自然災害があります。災害を防いだり、被害を少なくすませる工夫が大切です。

2 地球のエネルギーを電気に

ところで、人間は、便利なエネルギーとして「電気」を使っています。これまでは、石油や石炭を燃やしたりして電気を作ってきました。しかし、石油や石炭を燃やすと、地中にあったものが二酸化炭素として大気中に放出されてたまってしまい、地球温暖化につながると言われています。

そこで最近では、二酸化炭素を排出しない、風、水、地熱、太陽光など、「再生可能エネルギー」を使って電気を作ることがすすめられています。

3 「ちょうどよく」暮らす工夫

風、水、地熱、太陽光などは、電気に変えることができる反面、ときおり強すぎて人間にとっては災害となってしまうことがあります。「再生可能エネルギー」を使った発電の効率を高めることへの「工夫」が始まっています。さらに、発電と併せて、自然災害や地球温暖化への対策もすすめられれば、とても有意義です。

「電気を節約して使う」だけでなく、「電気はどのようにしてできるのかがわかる」、「電気のもつ特徴がわかる」、そしてエネルギーの使い手として「世界の持続可能性を考えて選択・判断できる」ようになってほしいと思います。さらには「暮らし全体を良くしていく新しい工夫を考え出せる」ようになってほしいと思います。